



限界集落の状況は

村形 昌一 議員

当町でも 1 地区発生した

町 長



高齢化が進む町中心部(大石田地区)

集落の高齢化

10年前は4地区、5年前は21地区が準限界集落(55歳以上人口比50%以上)だった。現在の状況はどうか。

町長 本年は29地区となり全地区に占める割合は69%。また、限界集落(同65歳以上)が1地区だ。単身高齢者の状況は。町長 平成17年で120世帯、22年で159、本年は228で町の全世帯の1割を占める。

民生委員の負担が増していかないか。

町長 話し合いの中で軽減を考える。老人クラブの会員拡大は町長 難しいと考える。生涯現役の手立ては。町長 例えばシルバー人材センターの場合、発足当時の受注高は320万円だったものが昨年は7千万円となった。会員も150名と増え、さらに活躍してもらいたい。

地区行事の推奨

施策をどう進めるか。

町長 地域の活力が町全体の発展につながると考える。高齢化の進展は少なからず地域活動に影響を与えるが、どう地域を継承していくかが重要だと考える。

活性化を図るには。町長 公民館活動の活発化や地方移住・田園回帰ふるさと回帰などがあり、こうした分野も視野に入れまちづくりをしていく。地区対抗の各種大会は、教育長 競技人口が減っているからと考えるが、



試合後の呑みニケーションが大事(壮年ソフトボール)

大会運営について改めて検討する段階と考えている。

参加チームを増やすことはできないか。

教育長 努力したい。他の自治体では、ソフトボールやバレーボールで全地区参加の町がある。町職員が割り当てられた地区を担当しているが、そうした事はできないか。町長 職員配置は、強制的にできない。高齢化が進む中、地区民同士のつながりを図る施策を町を挙げて検討していただきたい。

町の考えを問う

4議員が一般質問



一般質問とは…

議員が町の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質すことをいいます。議員1人あたりの持ち時間は1時間です。今定例会では4議員が一般質問を行いました。

遠藤 宏司 議員

◆各種の町民負担を減らし、くらしやすい町を目指す考えはないか

7ページ

岡崎 英和 議員

◆運動教育の環境整備を

8ページ

村形 昌一 議員

◆集落の高齢化状況と高齢化率が高まる中、将来を見据えたまちづくりをどう進めるか

◆地区行事を推奨し、地域の活性化を図れ

5ページ

小玉 勇 議員

◆太陽光発電施設の建設に対して様々な憶測がある町民の不安にきちんとした説明をすべき

6ページ